

2021 年 2 月 9 日

各 位

株式会社 北陸銀行

**当行が使用する電力の再生可能エネルギーへの切り替えについて
～CO₂排出削減に向けた取り組み 「とやま水の郷でんき」 第一号案件～**

北陸銀行（頭取 庵 栄伸）は、富山県と北陸電力株式会社がCO₂排出量の削減に取り組む企業向けに創設した電気料金メニュー「とやま水の郷でんき」を本年4月より導入いたします。「とやま水の郷でんき」の契約企業としては、当行が第一号となります。

富山県営水力発電所から産み出される電気を活用する「とやま水の郷でんき」は、富山県の水力発電所を守っていくことへの貢献に加え、再生可能エネルギーの導入およびエネルギーの地産地消により、企業のCO₂排出量を削減することができます。

ほくほくフィナンシャルグループは、本年2月1日に環境方針の制定・公表を行うとともに、気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD（注1））への賛同を表明いたしました。本件はこれらの方針に基づき、温暖化防止への取り組みの一環として実施するものです。

当行は今後も、地域社会の課題解決に向けた取り組みを推進し、持続可能な地域社会の発展に貢献してまいります。

記

1. 契約内容

- （1）名 称 ： とやま未来創生でんき「とやま水の郷でんき」
- （2）概 要 ： CO₂排出削減に取り組む企業向けにCO₂フリーの富山県営水力発電所の電気・環境価値を供給。
- （3）開 始 日 ： 2021 年 4 月 1 日（木）
- （4）対象施設 ： 北銀アルプスビル（富山市東田地方町 1-5-25、当行データセンター）

2. 本件によるCO₂排出量の削減効果

年間 2,615 t （2019 年度実績値より算出）

～ 杉の木で約 18 万本のCO₂吸収量に相当（注2）、 当行全体で 21%の削減効果 ～

3. 「とやま水の郷でんき」証明書交付式

2月9日（火）、富山県庁にて、新田富山県知事、金井北陸電力社長より、「とやま水の郷でんき」証明書が、庵頭取に交付されました。



左から、新田八朗富山県知事、庵 栄伸北陸銀行頭取、金井 豊北陸電力社長

4. 該当するSDGsの目標



SDGs は Sustainable Development Goals の略称で、2015 年に国連で採択された 2030 年までに達成すべき 17 の目標と 169 の具体的なターゲットを定めた「持続可能な開発目標」です。
ほくほくフィナンシャルグループは 2019 年 4 月に「SDGs 宣言」を表明しました。

(注 1) Task Force on Climate-related Financial Disclosures : 2015 年 12 月に金融安定理事会 (FSB) が設立した国際的な支援組織。低炭素社会への円滑な移行のために、気候変動関連リスク・機会の評価と財務への影響の開示を行うよう提言している。

(注 2) 年間 14 kg/本として (出所 : 林野庁)

以 上

<本件に関するお問い合わせ先>

北陸銀行 経営企画部総務室

TEL(076)423-7111

経営企画部広報CSRグループ

TEL(076)423-7111